



東京都立立川学園 学校通信⑬

令和 8 年 3 月 2 日

立川だより

東京都立立川学園
校長 市川 裕二
東京都立川市栄町 1-15-7
電話 042-523-1358



令和7年度も残すところあとひと月



校長 市川 裕二

3月になります。令和7年度も残すところあとひと月になりました。季節の移り変わりの速さを感じます。ついこの間まで、寒い寒いと言っていましたが、先日は、20度まで気温が上がった日もありました。2月23日(月)の天皇誕生日。気象庁は関東地方で春一番が吹いたと発表しました。昨年は関東地方の春一番がなく、2024年以来2年ぶりの発表となったそうです。春一番は、冬から春への移行期に初めて吹く暖かい南寄りの強い風のことです。先週の北陸地方、九州北部地方・中国地方・四国地方に続いての発表となりました。

さて、3月は進学・進級の季節でもあります。3月になれば、卒業式を実施し、一人一人の幼児・児童・生徒が、一人一人に応じた進路先へ向かっていくことになります。本校のタッチ部門について、特段、高等部卒業後の進路は、昔に比べて、多様になっています。大学、専門学校、専攻科、一般就労、福祉就労など、一人一人の思いに応じた進路を考える状況になっています。これは高等部に限らず、中学部でも、様々な高等学校、ろう学校以外の特別支援学校など、もちろん、本校や中央ろう学校、葛飾ろう学校の高等部など、多様な選択肢があります。

例えば、大学の入試でも、多様な受験方法があり、「一般選抜」「学校推薦型選抜（公募制・指定校制）」「総合型選抜」の3種類があり、総合型選抜（これは、昔のAO入試にあたりますが）とは、大学が求める学生像に合った人物を、面接などを通して選抜する方式で、学力面だけでなく、高校での活動、受験生の個性や適性、意欲など総合的に人物評価を行うのが特徴になっています。昔は、私立大学が中心でしたが、近年は国公立大学でも総合型選抜の募集枠が増えています。同様に、都立高等学校でも、総合学科高校、単位制高校、科学技術高校、産業高校、昼夜間定時制高校、チャレンジスクール、エンカレッジスクールなど、多様な種類があります。

本校では、このような多様な進路先についての情報を、本校の幼児・児童・生徒に知ってもらい、将来の希望する進路に向けて、今、努力し、前進するため、「進路情報発信室（仮称）」を設置することにしました。詳細は、後日お伝えしようと思いますが、まずは、将来の進路を気楽に、楽しく、学べるような部屋の設置をしていくつもりです。

